

### 3. 診療技術部

#### 薬剤科

##### 《概要》

平成12年4月より、病院運営の一環として、「医薬分業の徹底と薬剤科病棟業務の充実」に基づき、全面院外処方せん発行を行い、22年度月平均の発行率は94.1%を達成している。薬剤管理指導における指導患者数及び指導件数については、月平均の指導患者数690名、指導件数968件(退院加算77件)と順調な推移を示している。

また、無菌製剤処理加算の施設基準を平成13年3月29日に取得し、TPN製剤の調製を行っているが、平成22年8月より末梢点滴を含めた全ての注射薬の無菌混合調製を行っている。22年度における混合調整の実績として、調製本数は月平均1,074本、年間12,893本となっている。

次に、外来の抗がん剤の調製を平成14年8月より開始し、平成16年12月より外来・入院の全患者について抗がん剤調製を実施している。22年度における実績は月平均312名、年間3,745名の患者に調製を行い、調製本数は月平均454本、年間5,448本となっている。

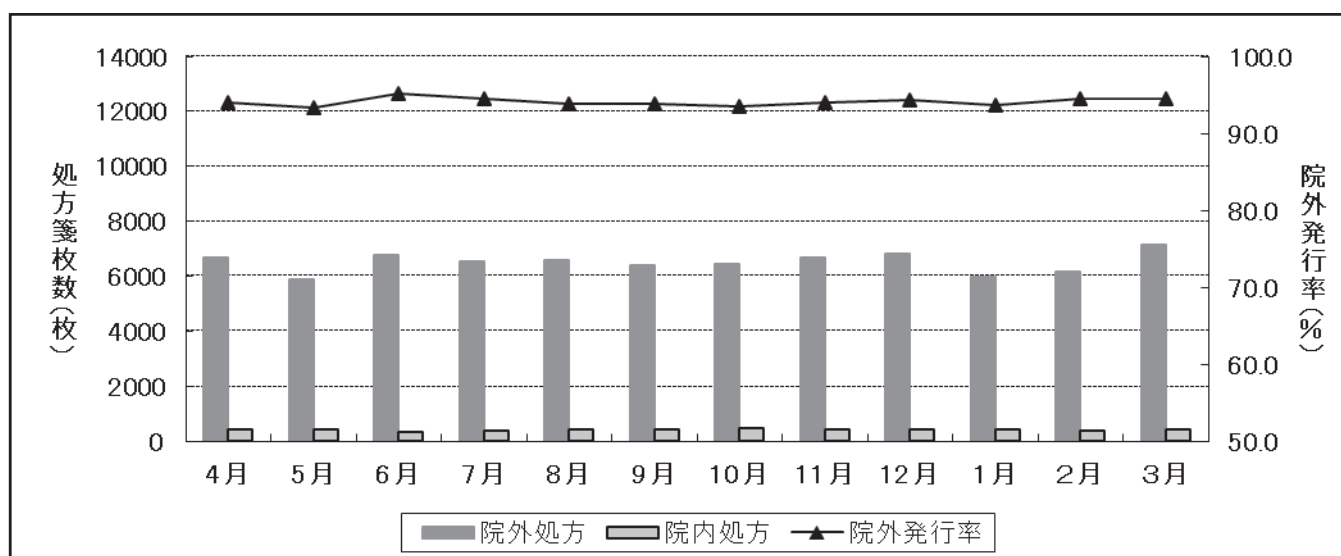
さらに、持参薬鑑別コーナーを設置し、入院全ての鑑別を平成20年4月より開始し、22年度における実績は月平均322人、2,285剤となっている。

今後とも、薬剤師として良質な医療の提供は勿論のこと、更に質を高めて実践するため、以下の4項目を基本的な理念としている。

1. 薬の専門家として、患者様にとって有益な薬物療法を提供する。
2. 薬によるインシデント・アクシデントを減少させ、安全な薬物療法を提供する。
3. 臨床薬剤師として医療チームに貢献する。
4. 薬剤師の職能を高めるため、研究心を持って日々努力する。

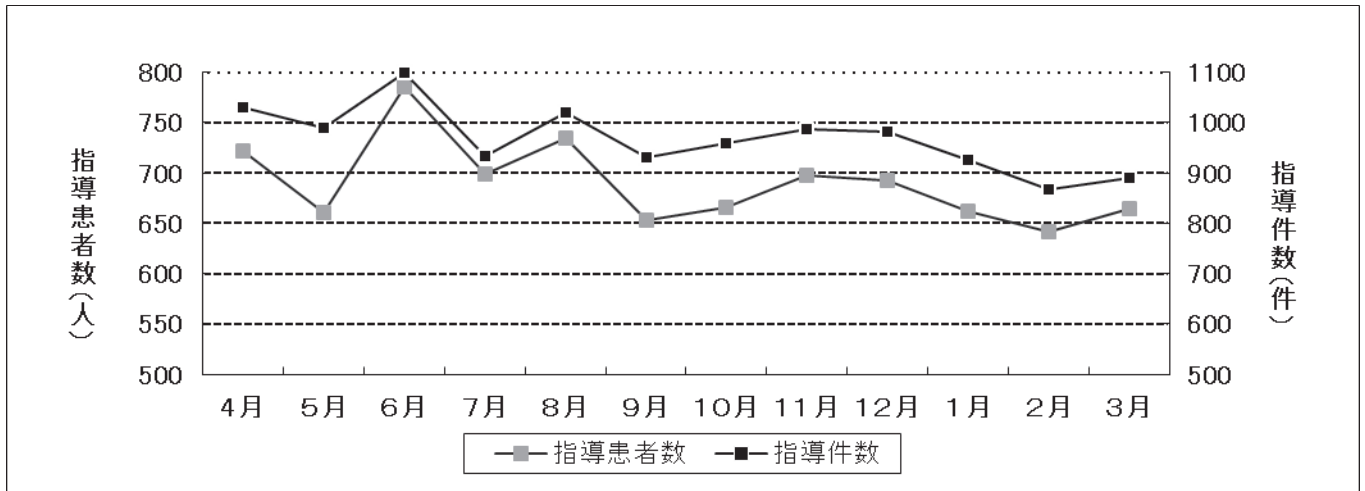
##### 《実績》

平成22年度処方箋枚数と院外処方箋発行率



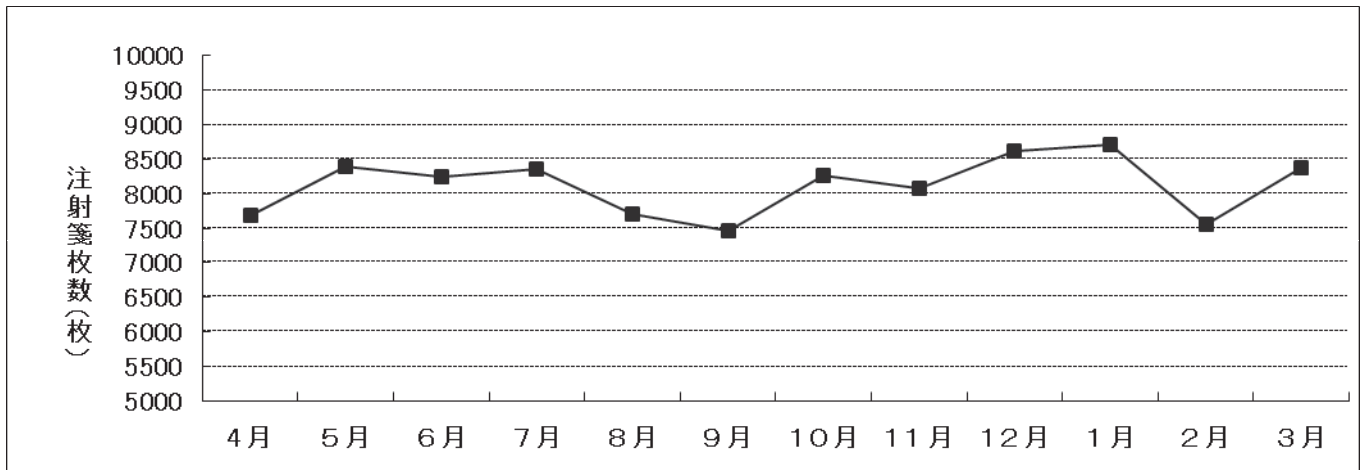
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院外発行率	94.0	93.3	95.2	94.5	93.9	93.8	93.5	94.0	94.3	93.7	94.5	94.5
院外処方	6,660	5,888	6,749	6,521	6,560	6,395	6,462	6,691	6,823	5,982	6,141	7,138
院内処方	425	423	340	382	424	420	448	425	409	405	356	418

平成22年度服薬指導実施人数・件数



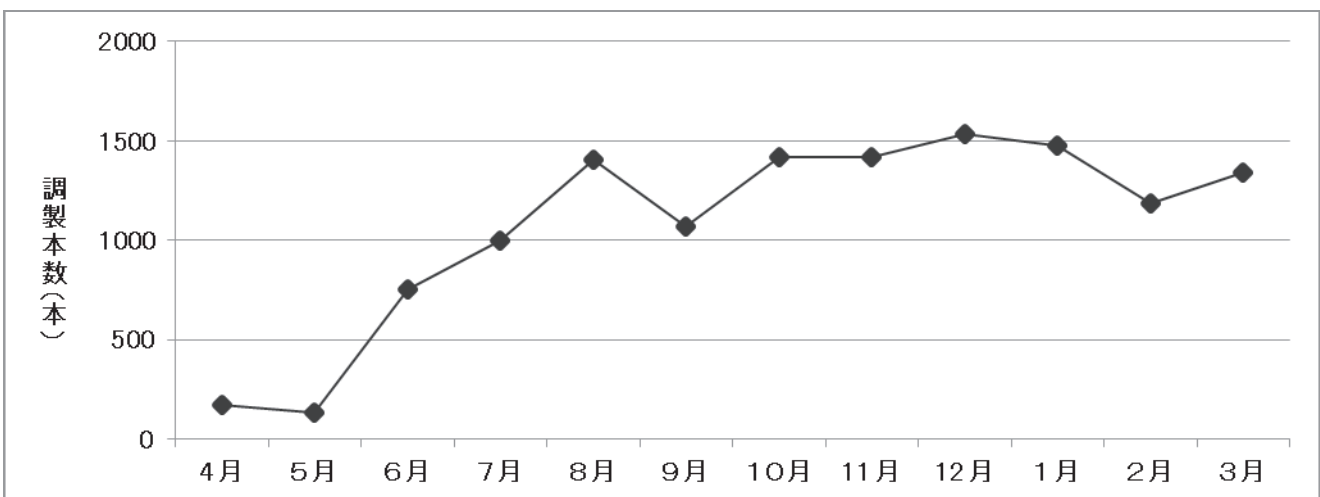
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導患者数	722	661	785	699	734	653	666	698	693	662	641	664
指導件数	1,030	990	1,099	933	1,021	930	958	986	982	927	867	891

平成22年度入院注射箋枚数



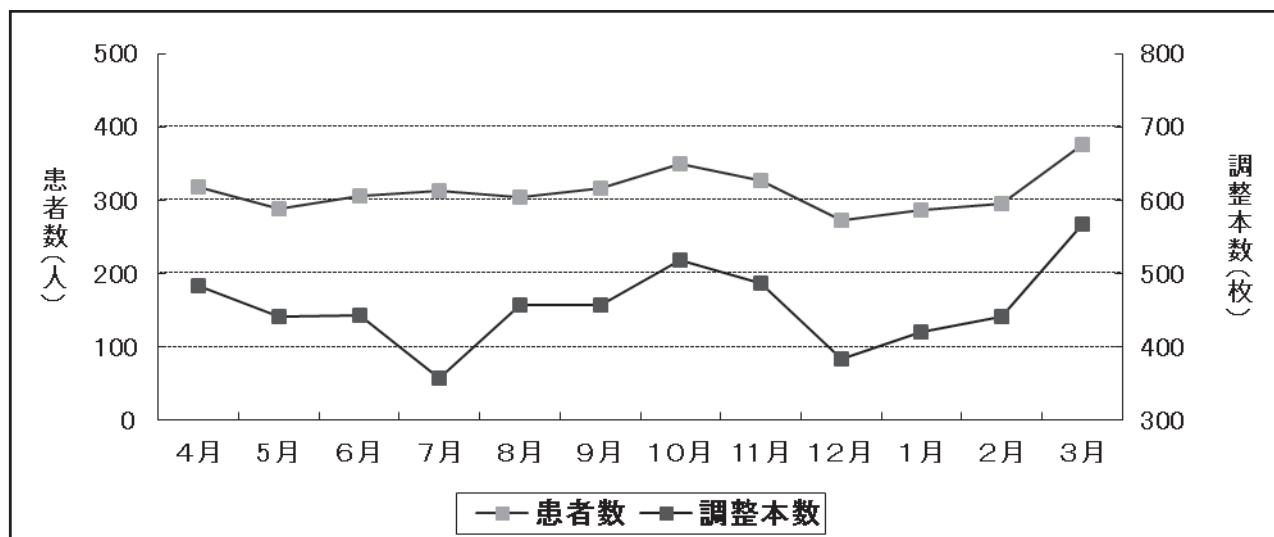
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
注射箋枚数	7,692	8,389	8,243	8,355	7,706	7,464	8,259	8,075	8,613	8,711	7,557	8,387

平成22年度注射薬無菌混合調製本数



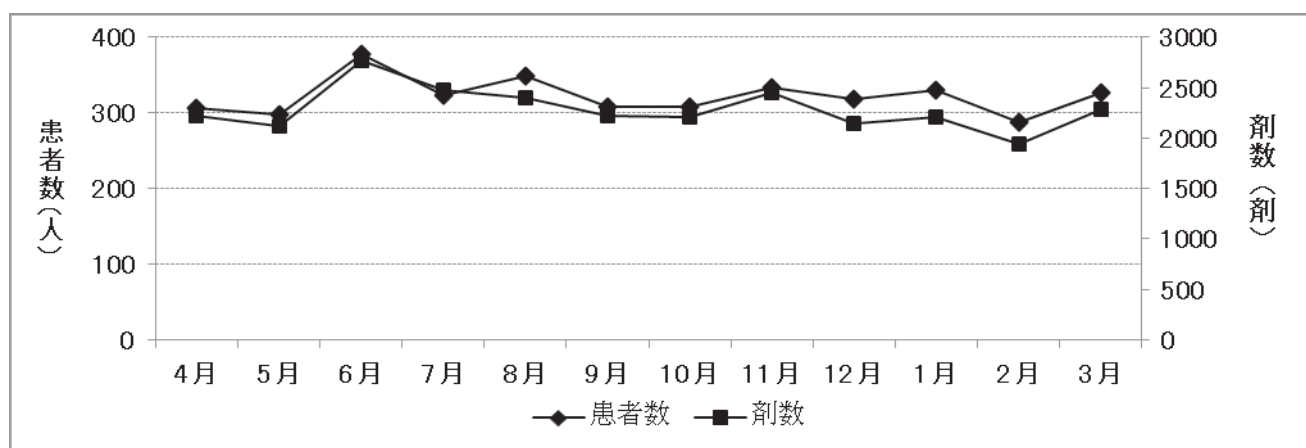
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調製本数	169	129	752	999	1,405	1,066	1,418	1,419	1,534	1,476	1,188	1,338

平成22年度抗がん剤調製患者数・調製本数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	317	287	306	312	304	315	349	326	272	286	295	376
調製本数	483	440	442	356	457	457	518	486	382	420	441	566

平成22年度持参薬鑑別患者数・剤数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者数	307	297	378	323	349	308	308	333	318	330	288	327
剤数	2,223	2,115	2,766	2,473	2,402	2,216	2,202	2,453	2,147	2,209	1,935	2,284

## 《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2010.4~2011.3)

番号	整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		ESBLs産生菌制御のための薬剤部の取り組み	森朝紀文	感染対策ICTジャーナル	Vol.6 No.1	44-47	2011

(2) 学会研究会報告 (2010.4~2011.3)

番号	整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1		がん治療に伴う口腔粘膜炎に対する蛋白分解酵素含有含嗽剤の効果	○森朝紀文 中川直樹 藤田祐生 大前政利	第48回日本癌治療学会総会	2010.10.29
2		がん治療に伴う口腔粘膜炎に対する蛋白分解酵素含有含嗽剤の比較試験	○森朝紀文 中川直樹 北島正大 泉原里絵 西村亜希子 西井拓人 藤田祐生 大前政利	第20回日本医療薬学会年会	2010.11.14

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
3	抗菌薬適正使用への薬剤管理指導支援システムの活用	○泉原里絵 坂口雅未 北島正大 森朝紀文 川西史子 玉置俊治	第26回環境感染学会総会	2011.2.18

(3) 学術講演 (2010.4～2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	座長	森朝紀文	第1回大阪府病院薬剤師会第17支部研修会	2010.4.21
2	病院薬剤師業務の変遷	森朝紀文	泉佐野・泉南薬剤師会第133回合同勉強会	2010.10.14
3	新薬を含めた糖尿病治療薬の特徴	森朝紀文	第2回泉佐野糖尿病メディカルスタッフセミナー	2010.11.6
4	座長	森朝紀文	第2回大阪府病院薬剤師会第17支部研修会	2010.11.30
5	お薬について	森朝紀文	医療通訳りんくうフォローアップセミナー	2011.1.16
6	座長	森朝紀文	第10回泉州循環器カンファレンス	2011.2.12
7	ICTラウンドにおける薬剤師の役割	森朝紀文	第26回南大阪呼吸器レクチャー	2011.2.24
8	座長	森朝紀文	泉州感染症フォーラム	2011.3.9

(4) 院内研究活動 (2010.4～2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	Stop! メディケーションエラー～過去の事例から学ぶ～ (医療安全研修会)	森朝紀文	2011.2.17